

水なし印刷によるリノベーション効果

FFGS 東レ

北東工業で見学会

老朽化マシンの再生に成功

富士フィルムクロールバクグラフィックスシステムズ(株)と東レ(株)は4月9・10日の両日、北東工業(株)本社(大阪市中央区上町1-19-4、東條秀樹社長の全面協力を得て)「水なし印刷によるリノベーション効果とその収益性」と題したセミナー&工場見学会を開催した。北東工業は、水なし印刷技術の採用で、老朽化が進む2台の主力マシン(菊全判両面8色機)を再生させ、品質精度や作業性向上に成功。さらに世界初の「水なしLED-UV印刷」の実用化に向けたプロジェクトも進行中で、現在、全社を挙げて「水なし化」を推し進めている。講演では、東條社長が経営的メリット、また北東工業の「水なし化」を指導するタケミ(株)さいたま浦和区の柴崎武士社長が機械メンテナンスの重要性などを解説した。



東條 社長



柴崎 社長

大阪のクリエイティブな生産工程において、水なし印刷技術を採用。12月には、水なし印刷仕様(菊全判4色機「オリバー496SD」を新設し、オフセット印刷サービスを支援する生産工程において「水なし化」を二気に推し進めている。さらに昨年6月には、水なし印刷仕様の菊全判4色機「オリバー496SD」を新設し、オフセット印刷サービスを支援する生産工程において「水なし化」を二気に推し進めている。さらに昨年6月には、水なし印刷仕様の菊全判4色機「オリバー496SD」を新設し、オフセット印刷サービスを支援する生産工程において「水なし化」を二気に推し進めている。

世界初

水なしLED-UV印刷実用化へ



水なしで甦った2台のJ-Print(菊全判両面8色機)



水なしLED-UV印刷実用化を担うオリバー466SD

福田浩志社長の工場視察で水なし印刷技術に着目。ウエマツでは、北東工業でも2台稼働している菊全判両面8色機「J-Print」を「水なし印刷」にするべく、画面機の機構に起因する欠点を克服していた。これを自らの当りたりにした東條社長は、その場で「水なし化」を決定した。その後、印刷機が再生された状態では、水なし印刷技術に着目。ウエマツでは、北東工業でも2台稼働している菊全判両面8色機「J-Print」を「水なし印刷」にするべく、画面機の機構に起因する欠点を克服していた。これを自らの当りたりにした東條社長は、その場で「水なし化」を決定した。



水なしLED-UV印刷のサンプルを公開

降るまで全社で徹底的に究明する体制を構築。開始から12年間でおよそ4300件のデータを受け付けている。その中の傾向として、インクが白濁したり、色が褪せたりする。東條社長は、都インキに頼るのではなく、新しい水なしインキを開発を依頼した。協力をいただいた他の印刷機メーカーからも実機を熟知する必要がある。水なし印刷のメリットは、メンテナンスの負担が軽減されること。また、印刷機が再生された状態では、水なし印刷技術に着目。ウエマツでは、北東工業でも2台稼働している菊全判両面8色機「J-Print」を「水なし印刷」にするべく、画面機の機構に起因する欠点を克服していた。これを自らの当りたりにした東條社長は、その場で「水なし化」を決定した。

富士ゼロックス複合機
表示利用にヒラギノ
DS/富士ゼロックス

高精度Jヘッドやインク硬化制御評価

富士フィルム(株)(中嶋成博社長)のワイドフォーマットLED-UVインクジェットプリンタ「Acuity LED 1600」が「平成26年度日本印刷学会技術賞」を受賞した。

富士フィルム



前列左から、富士フィルム(株)R&D統括本部アドバンスマーケティング研究所の眞田和男氏、佐藤武彦氏、齊田博文氏、後列左から、同・藤井勇介氏、大西弘哲氏

Acuity LED 1600 印刷学会技術賞 受賞

・市場性・展開性などの観点から審査・選出される。「Acuity LED 1600」は、大型ポスターや看板などのサイン&ディスプレイ用途に最適な高速・高画質のLED-UVインクジェットプリンタ。短納期・小ロット化と同時に、生産性や画質に対する要求も高まるサイン&ディスプレイ市場に対し、ヘッド、インク、UV露光方式を開発し、クラス最高レベルの生産性と品質性能を持つワイ



Acuity LED 1600

ドフォーマットインクジェットプリンタとして2012年に商品化したものだ。今回の受賞では、高画質と高生産性を両立する高精度インクジェットヘッドやインク硬化速度を緻密に制御する技術などが高く評価された。△UV硬化において、インク膜の強度アップのためにランプレッドを上げる平滑性が低下する。△「画質と生産性のバランスの良さ」とインクジェット特有のバリエーションの低減化が市場で評価された。△「売上」10億円以上の品質管理を水平展開するための標準語・物差しである(東條社長)

「水なし印刷」のメリットは、メンテナンスの負担が軽減されること。また、印刷機が再生された状態では、水なし印刷技術に着目。ウエマツでは、北東工業でも2台稼働している菊全判両面8色機「J-Print」を「水なし印刷」にするべく、画面機の機構に起因する欠点を克服していた。これを自らの当りたりにした東條社長は、その場で「水なし化」を決定した。

【安心のインターネットプリンター】
Print8z 超お急ぎに便利!
全国 当日発送 大阪限定 当日配達
印刷業界でも最權威ある品質の証、JapanColor.
弊社では、標準印刷認証、フルーフ認証はもちろん、最難関のマッチング認証の取得にも成功いたしました。
マッチング認証 JC-M003701-01 北東工業株式会社 東大阪工場
プリントピズ 検索
Powered by 北東工業株式会社